

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 公民 科目 政治・経済基礎

教科：公民 科目：政治・経済基礎 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組 選択者  
 教科担当者：鈴木恭子  
 使用教科書：政治・経済（東京書籍）

- 教科 公民 の目標：
- 【知識及び技能】18歳からの社会参画に向けた意識を高めるため、基礎的な知識・技能を身につける。
  - 【思考力、判断力、表現力等】論理的思考、判断を行い、書いてまとめる、発表する力を身につける。
  - 【学びに向かう力、人間性等】現代社会の諸課題について、主体的に課題と向き合い解決する力をはぐくむ。

科目 政治・経済基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解し、社会の在り方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や現実社会に見られる複雑な課題を把握し、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1-1-1 現代国家と民主政治 ・政治、国家、法のあり方について考えさせる。 ・基本的人権の歴史的発展や法の支配について考えさせる。 ・民主政治のしくみと課題を理解させた上で、権力分立と立憲主義の重要性を理解させる。	・民主政治と法 ・民主政治の基本原則 ・民主政治のしくみと課題 ・世界のおもな政治制度	【知識・技能】 レポート、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	9
	1-1-2 日本国憲法と基本的人権 ・日本国憲法の成立過程を踏まえつつ、明治憲法との違いを理解させる。 ・日本国憲法の基本原則を理解させたうえで、憲法の改正手続きについて考えさせる。 ・自由権の内容について理解させる。	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本原則 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利	【知識・技能】 レポート、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8
	1-1-2 日本国憲法と基本的人権 ・社会権の内容について理解させる。 ・新しい人権について理解させる。 ・公共の福祉について理解させる。 ・日本の安全保障政策の展開について理解させる。 ・こんにちの安全保障政策の課題について理解させる。	・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権 ・人権の広がりや公共の福祉 ・平和主義と自衛隊 ・日米安全保障体制の変化 ・21世紀の平和主義	【知識・技能】 レポート、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	9
	1-1-3 日本の政治制度と政治参加 ・国会の役割や権限について理解させる。 ・内閣の権限と議院内閣制について理解させる。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について理解させる。 ・地方自治の本旨や住民の権利について理解させる。 ・日本の政党政治の特徴と課題について理解させる。 ・日本の選挙制度の特徴と課題について理解させる。	・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参加	【知識・技能】 レポート、ノートなどの提出物 【思考・判断・表現】 授業への取り組み、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、ノートなどの提出物	○	○	○	8

